

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

浅口市長 栗山 康彦

市町村名 (市町村コード)	浅口市 (332160)	
地域名 (地域内農業集落名)	鴨方地域 (阿部山集落)	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年11月14日 (第1回)	

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

鴨方町は市内北西部に位置し、農用地区域内の農用地等は249.6haで、そのうち田が195.7ha、畑が53.9haを占める。中央部の平地では水稻と野菜類、北部と南部丘陵地では桃などの果樹類が、北部山間地域では花きの栽培が行われている。農地は小規模、不整形地が多く、また急傾斜地に散在し、土地利用に制約がある。中山間地域である阿部山集落においては、急傾斜地を利用し、花き、花木の栽培がされており団地化が進み、県内最大の産地となっているが、花き及び花木の生産と消費は、量及び金額ともに減少傾向が続いていることから、新たな需要の創出や、更なる魅力発信等により、安定的な生産及び販売の展開が求められる。また、農業従事者の高齢化や後継者不足に伴う農地の荒廃が懸念されている。

(2) 地域における農業の将来の在り方

急傾斜地が多く、効率的な農業経営が困難な地域であるが、他の作物に比べ、花き及び花木は初期投資が少なく新規参入しやすい。高品質で付加価値の高い新品種や新品目などの花き、花木を年間安定供給できる産地体制を確立し、広域集荷場による出荷体制の整備等による産地間連携など、市場の大型化や情報化の進展及び多様化する消費者ニーズに即応できる産地体制を構築し、安定した農業経営、耕作放棄地の防止を推進する。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	603 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	250 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
農地中間管理機構を活用することで耕作放棄地の増加を防ぐとともに、集落の中核となる担い手に対し、効率的な農地の集積・集約化を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
集落の担い手の高齢化が進んでおり、今後、経営規模を縮小または離農する農業者が増えてくると見込まれるため、農地の所有者の意向を踏まえた上で、農地中間管理機構に貸し付け、その農地を新たな担い手に集積・集約していく。
(3)基盤整備事業への取組方針
集落の意向、担い手の意向を踏まえ、必要に応じて基盤整備事業に取り組む。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
コンパクトな地域であることを活かし、兼業で農業を行うことも可能であることをPRして、市やJAと連携。地域内外から多様な経営体を募集し、栽培技術や農業用機械のレンタルなどの支援や生産する農地をあっせんするなど、相談から定着まで切れ目のない取り組みを展開する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
農道、水路等管理に係る除草作業など、効率化が期待される作業は市内事業者への委託を進める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

- ①イノシシの被害が拡大しないよう防護柵の設置を推進するとともに、目撃情報や被害情報があった場合には、鴨方町猟友会と連携し、速やかに対応できる体制を構築する。
- ③ドローンなどを活用し、農業経営の省力化、効率化、安定化を進める。
- ⑦集落内の非農業者とも連携し、農地等の適切な維持管理を行う。